

ダクト清掃作業従事者研修カリキュラム例

1 カリキュラムの考え方

- (1) 7時間以上を確保する。
- (2) 科目ごとの講義時間は、研修内容により適切な時間を設定する。
- (3) 2年目以降のカリキュラムは、カリキュラム例から取捨選択し、設定する。

2 1年目カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
ダクト清掃の基本原則	清掃方法 / 使用機器 / ダクト清掃概略図	40分
ダクト清掃要領	ダクト清掃工程 / ダクト清掃手順 必要に応じて実技訓練を行う。	110分
安全及び衛生	作業ルールの遵守 / 作業マナー / 作業の安全と衛生 / 作業の安全衛生 / 作業従事者の健康管理 / 安全・衛生の対策	60分
建築物の環境衛生行政	建築物衛生法のあらましと改正 / 空気調和用ダクト清掃業	60分
作業従事者の心得	ダクト清掃の目的 / 作業従事者としての自覚 / 共同作業と人間関係	60分
空気調和設備概論	空気調和とは / 換気 / 空気調和機 / 加湿機 / 空気調和用ダクト / ダクト付属品 / 吹出口、吸入口 / 端末風量制御ユニット / 図面の見方	90分

3 2年目以降カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
ダクト清掃の基本原則	清掃方法 / 使用機器 / ダクト清掃概略図 / 使用機器の選定	50分
ダクト清掃要領	ダクト清掃の計画と具体例 / ダクト清掃工程 / ダクト清掃手順 必要に応じて実技訓練を行う。	100分
安全及び衛生	作業の安全衛生 / 作業従事者の健康管理 / 安全・衛生の対策 / 現場での安全衛生（リスクアセスメント、KYK）	40分

上記科目は必修、他は以下のカリキュラムから選択する。

建築物の環境衛生行政	建築物衛生法のあらましと改正 / 空気調和用ダクト清掃業 / ダクト清掃の目的 / 健康的な室内環境	30分
作業従事者の心得	1年目カリキュラムの同科目に同じ。	60分
空気調和設備概論	空気調和とは / 換気 / 空気調和機 / 加湿器 / 空気調和用ダクト / ダクト付属品 / 吹出口、吸込口 / 端末風量制御ユニット / 空気調和設備の実際とダクト清掃作業	100分
ダクト汚染と診断方法	ダクト汚染 / 空気調和用ダクト内部の汚染物質 / 汚染の実態 / 汚染診断方法 / 汚染診断の計画と具体例	60分
最新技術の動向	最新技術の動向 / 空気調和用ダクト以外のダクト清掃	40分